



リケンテクノス株式会社

2025年3月期 決算説明会

2025年5月20日



SECTION

- 01 2025年3月期 決算概要
- 02 セグメント別概況
- 03 2026年3月期 業績予想

2025年3月期 連結業績サマリー



(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比	増減率	2025年3月期 業績予想(※)
売上高	125,739	128,141	2,402	1.9%	130,000
売上総利益	21,882	24,321	2,439	11.1%	-
営業利益	8,775	10,488	1,713	19.5%	9,200
経常利益	9,544	10,587	1,043	10.9%	9,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,880	7,370	490	7.1%	5,200
1株当たり当期純利益(円)	114.24	137.67	23.43	20.5%	95.54
ROS(%)	7.0	8.2	1.2	-	7.1

※期初予想

2025年3月期のナフサ価格：75,625円/KL、平均為替レート：151.47円/USD

- 投資有価証券売却益（政策保有株式売却）を特別利益に15億円計上(当期純利益へは11億円計上)
なお、前期の投資有価証券売却益は18億円計上(当期純利益へは13億円計上)
- 4期連続で売上高および各段階利益が**過去最高**を更新

セグメント別売上高推移



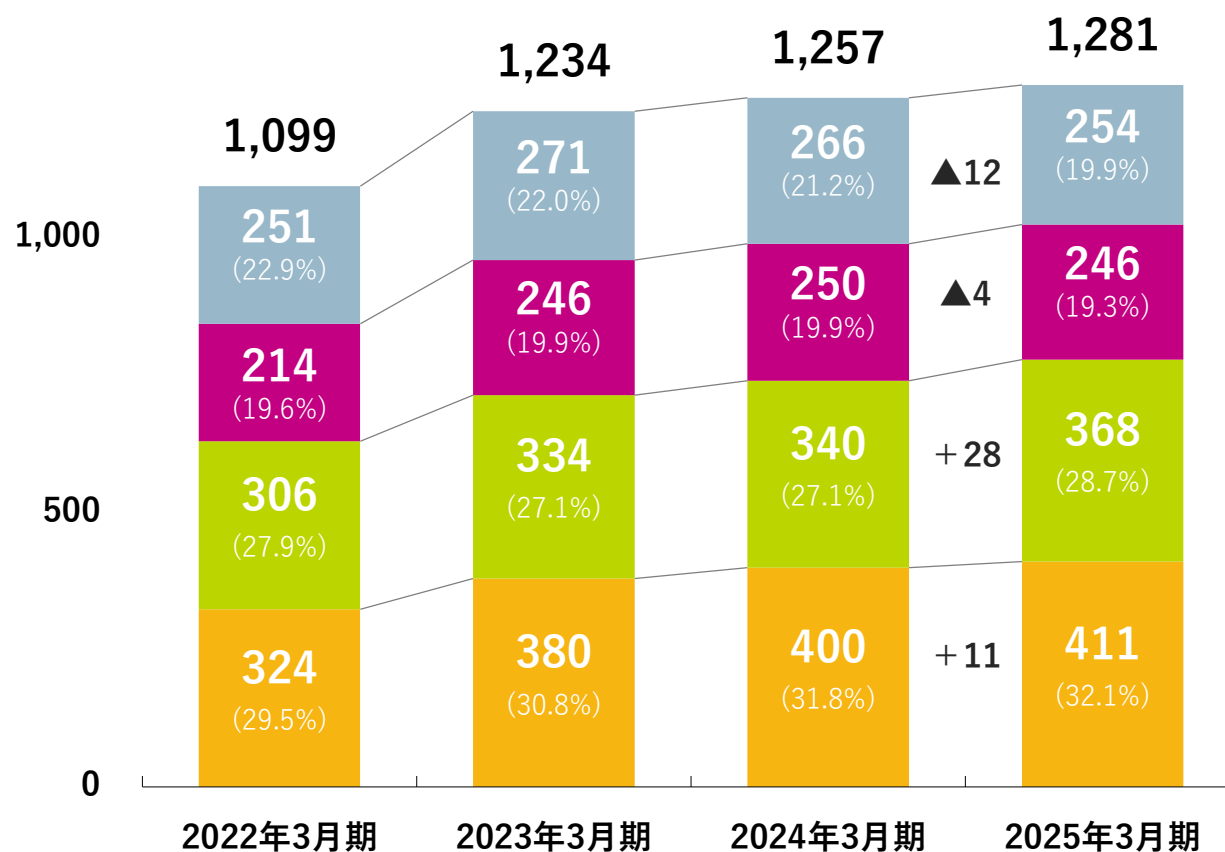
2025年3月期 売上高

1,281億円

前期比24億円増 (1.9%増)

(億円)

1,500



■ Building & Construction

住宅、ビル、建築資材、土木市場等



■ Electronics

エネルギー、情報通信、IT機器市場等



■ Daily Life & Healthcare

医療、生活資材、食品包材市場等



■ Transportation

自動車、鉄道、船舶市場等

※棒グラフ中のカッコ内%表示は
全体に占める各セグメントの割合

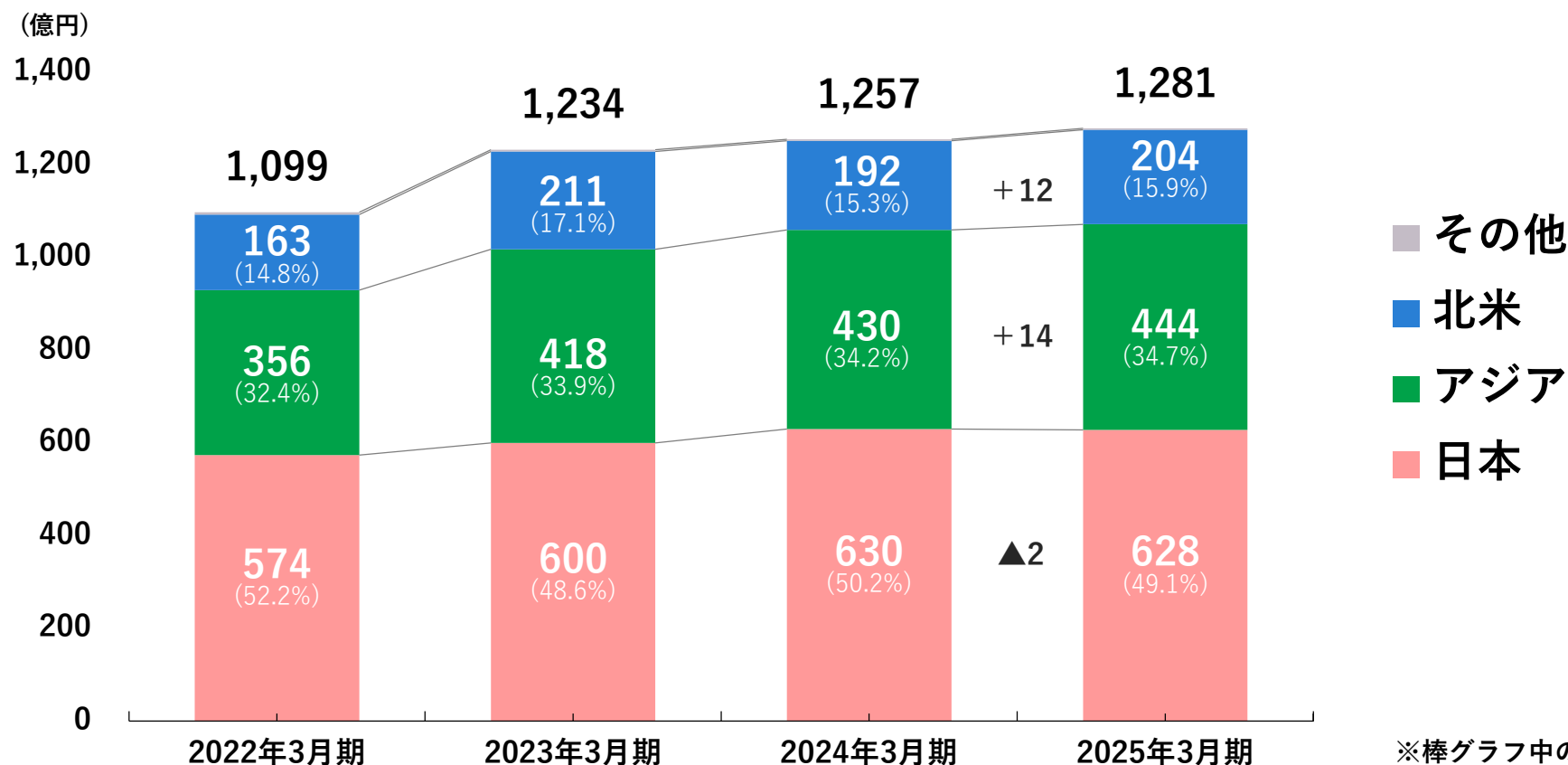
地域別売上高推移



2025年3月期 売上高

1,281億円

前期比24億円増 (1.9%増)



海外
売上高比率

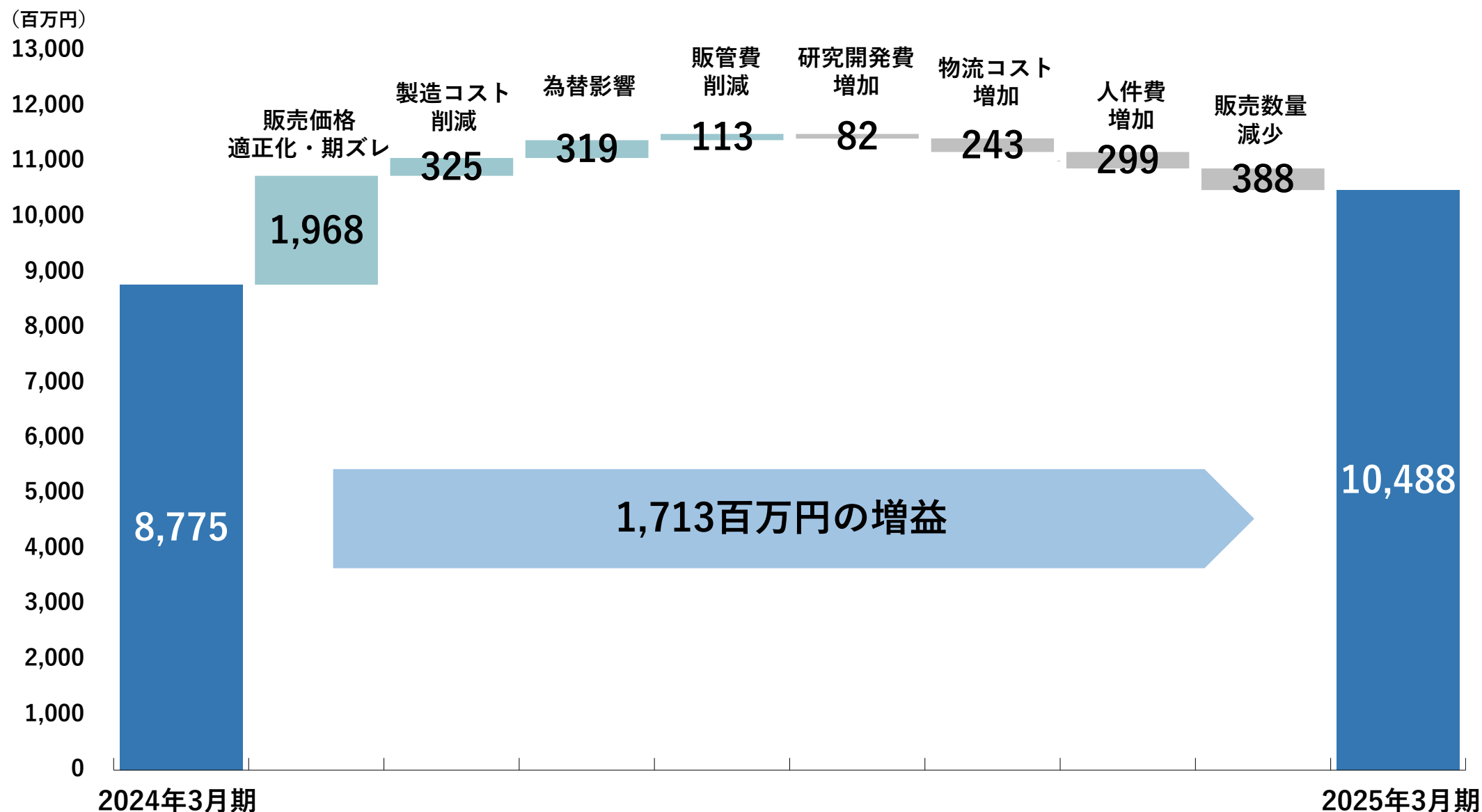
47.8%

51.4%

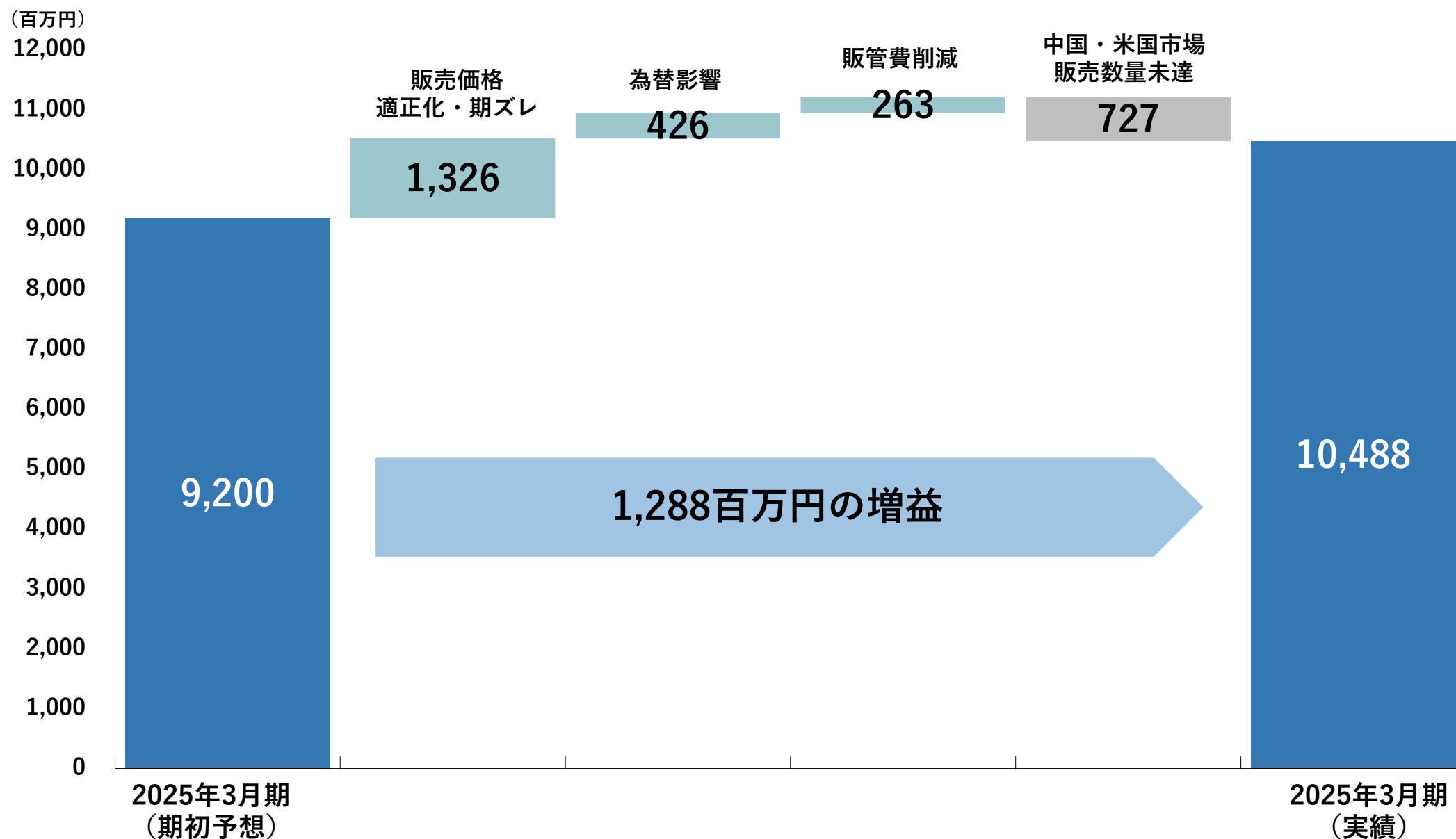
49.8%

50.9%

営業利益 前期比増減要因分析



営業利益 予想比増減要因分析



連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2024年 3月末	2025年 3月末	増減		2024年 3月末	2025年 3月末	増減
流動資産	71,820	74,322	2,502	負債	41,633	40,689	▲944
現金及び預金	21,879	24,472	2,593	流動負債	35,432	34,958	▲474
売上債権	29,929	26,869	▲3,060	固定負債	6,200	5,731	▲469
棚卸資産	19,376	21,852	2,476	純資産	74,017	75,780	1,763
その他	635	1,128	493	資本金	8,514	8,514	-
固定資産	43,829	42,146	▲1,683	資本剰余金	6,597	6,597	-
有形固定資産	28,475	30,583	2,108	利益剰余金	39,535	42,595	3,060
無形固定資産	2,247	2,646	399	その他有価証券評価差額金	6,526	3,615	▲2,911
投資有価証券	10,509	6,194	▲4,315	非支配株主持分	9,577	10,911	1,334
投資その他の資産	2,599	2,722	123	その他	3,268	3,548	280
資産合計	115,650	116,469	819	負債純資産合計	115,650	116,469	819

- 売上債権は回収期間短縮により減少
- 投資有価証券は政策保有株式売却により減少
- 有利子負債は11,799百万円

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

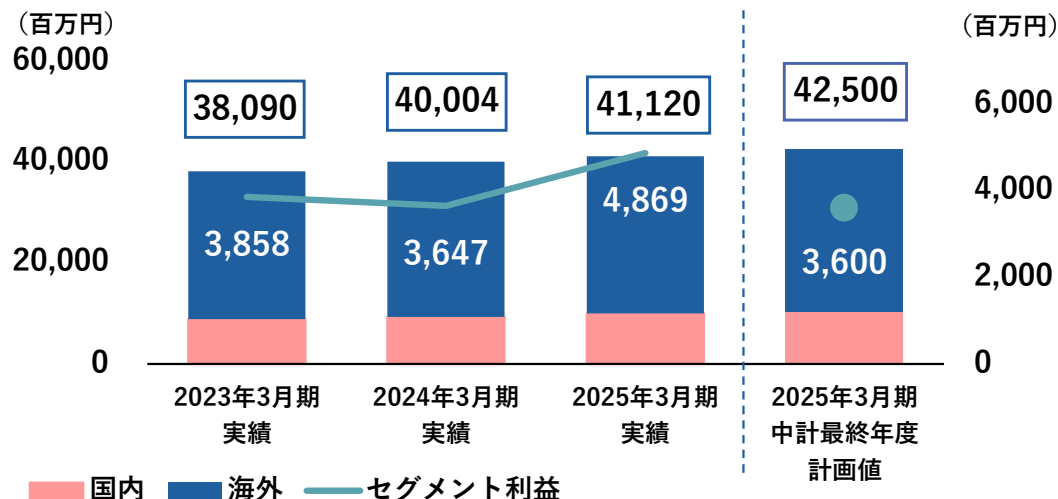
	2024年3月期	2025年3月期	増減
a.営業活動によるキャッシュ・フロー	10,753	11,547	794
b.投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,668	▲3,152	▲1,484
有形固定資産の取得	▲4,037	▲4,298	▲261
無形固定資産の取得	▲211	▲481	▲270
投資有価証券の売却収入	2,587	1,801	▲786
その他	▲7	▲174	▲167
c.フリー・キャッシュ・フロー (a+b)	9,084	8,395	▲689
d.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲11,120	▲6,512	4,608
自己株式の取得	▲7,000	▲4,019	2,981
配当金の支払額	▲1,793	▲1,867	▲74
その他	▲2,326	▲625	1,701
e.現金及び現金同等物に係る換算差額	432	713	281
現金及び現金同等物の増減額 (c+d+e)	▲1,602	2,595	4,197
現金及び現金同等物の期末残高	21,852	24,447	2,595

■ 前期に引き続き、自己株式の取得を実施

SECTION

- 01 2025年3月期 決算概要
- 02 セグメント別概況
- 03 2026年3月期 業績予想

売上高・セグメント利益



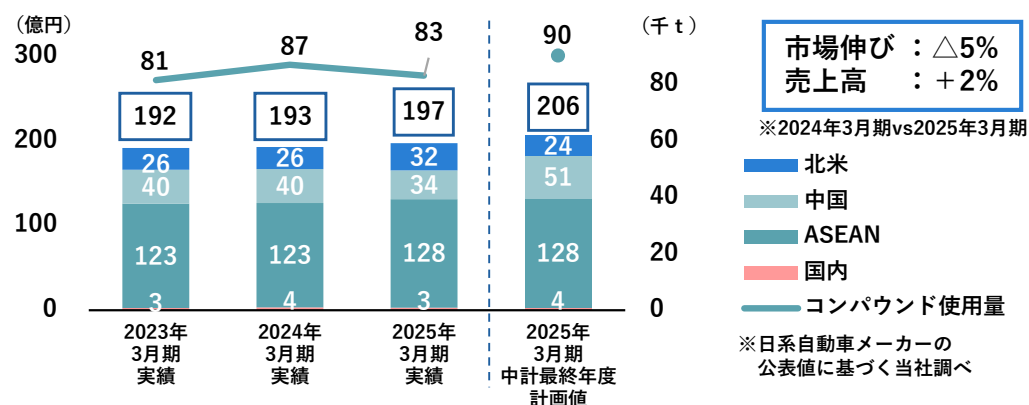
2025年3月期 通期実績

1,116百万円 増収 (+2.8%)
1,222百万円 増益 (+33.5%)

- 国内では、自動車生産は減少したものの、エラストマーコンパウンドの拡販と高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、ASEAN市場における日系自動車生産の減少に伴い販売が減少したものの、北米の日系自動車生産の増加に伴う販売の増加及び高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- セグメント利益は、国内のエラストマーコンパウンドの新規拡販と国内外の販売価格の適正化により、増益

重点分野① ワイヤーハーネス

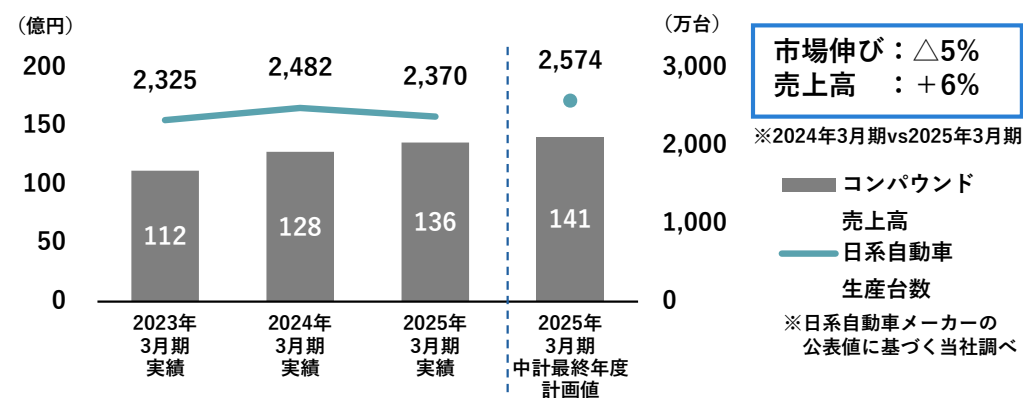
日系W/Hメーカーコンパウンド使用量と当社W/H向けコンパウンド売上高



- 日系の確実な取込みと高騰した原材料の価格転嫁を行い、増収
- 市場優位性のある薄肉コンパウンドを市場投入
- 非日系向けで、新規獲得が進展

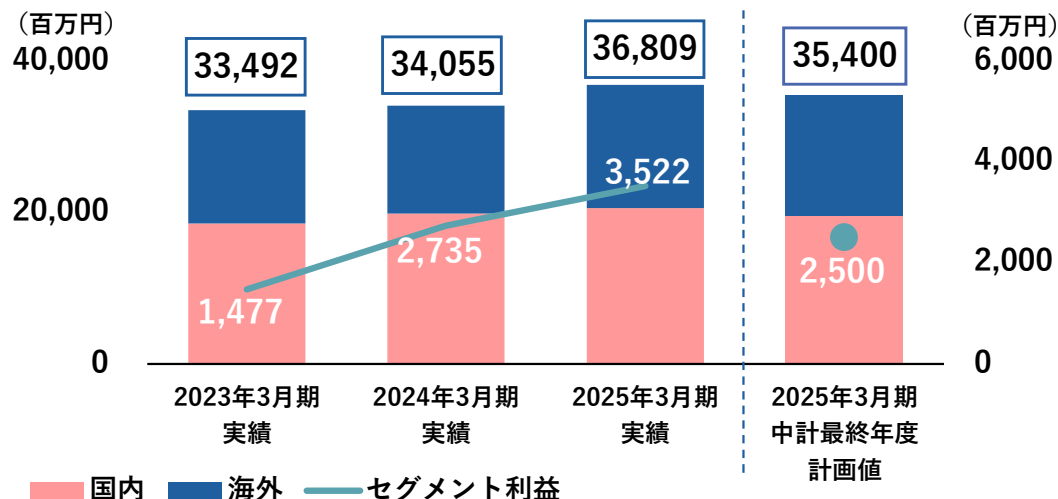
重点分野② 自動車用成形部材

日系自動車生産台数と当社自動車用成形部材向けコンパウンド売上高



- 日系シールメーカー向け大型案件をグローバルに獲得
- 各種機能部品向けで日本での新規獲得製品の海外展開を実施

売上高・セグメント利益



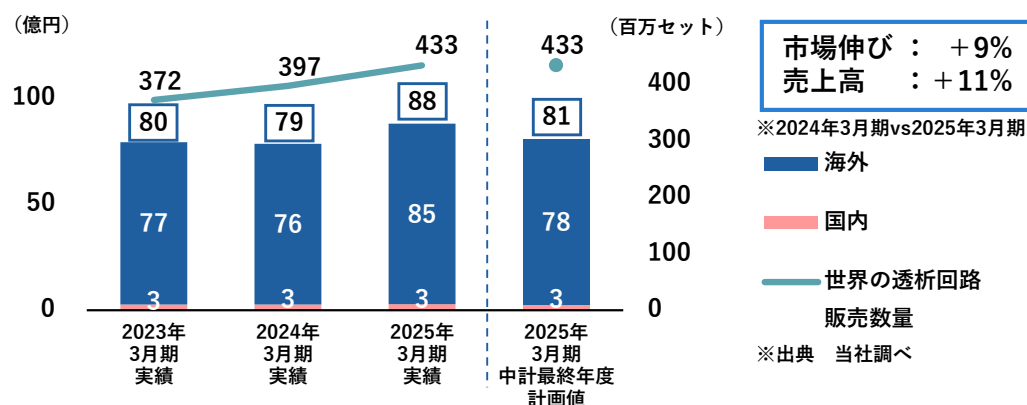
2025年3月期 通期実績

2,753百万円 増収 (+8.1%)
787百万円 増益 (+28.8%)

- 国内では、生活資材向け塩ビコンパウンドの販売が減少したものの、小巻ラップ製品及び生活資材向けエラストマーコンパウンドの販売が増加し、増収
- 海外では、医療・生活資材向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、小巻ラップ製品及び海外での医療・生活資材向け塩ビコンパウンドの販売増加と販売価格の適正化により、増益

重点分野① 医療用(PVC)

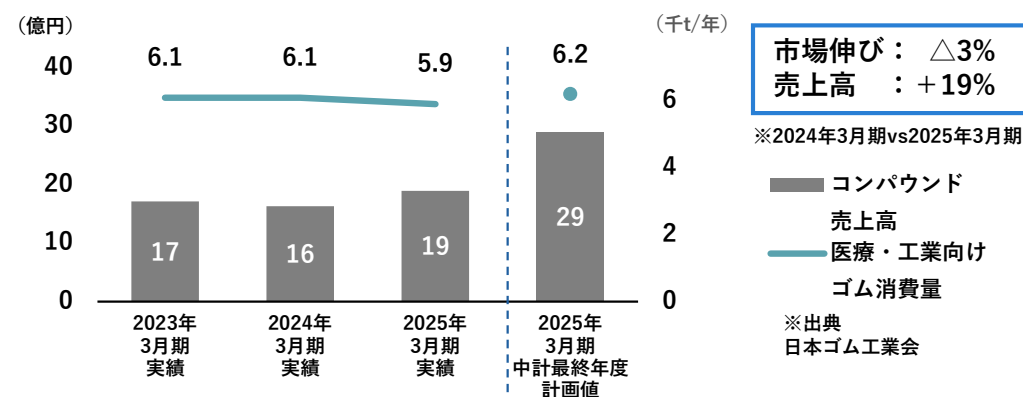
透析回路の販売数量と当社医療用PVCコンパウンド売上高



- ・ ASEAN向け日系顧客向け医療用PVCコンパウンドの販売増加
- ・ 非日系顧客への医療用PVCコンパウンドの拡販

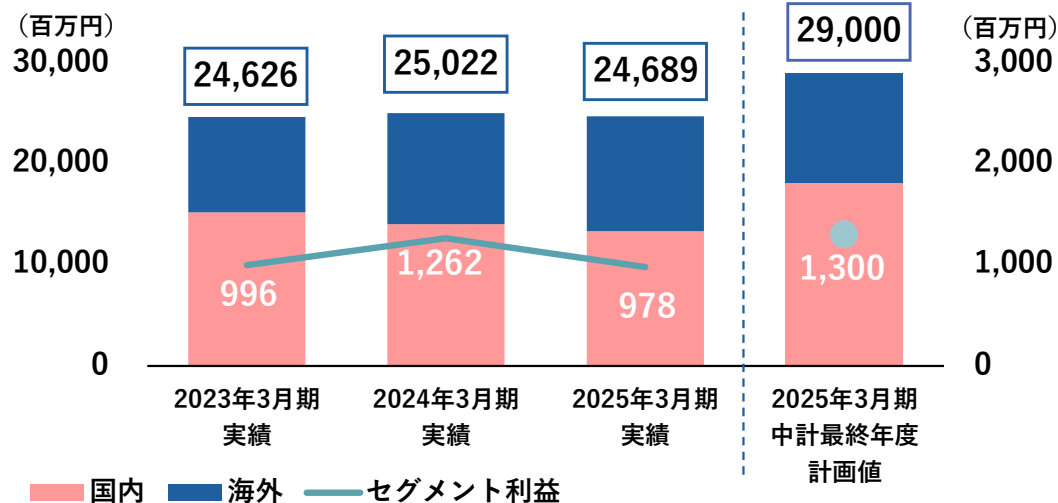
重点分野② ゴム代替

国内医療ゴム生産量と当社ゴム代替コンパウンド売上高



- ・ 国内向け輸液栓用エラストマーコンパウンドの販売増加
- ・ 国内向けキャップシール材の新規顧客向け販売開始
- ・ 海外市場向けシリンジガasket材の材料承認活動を拡大

売上高・セグメント利益

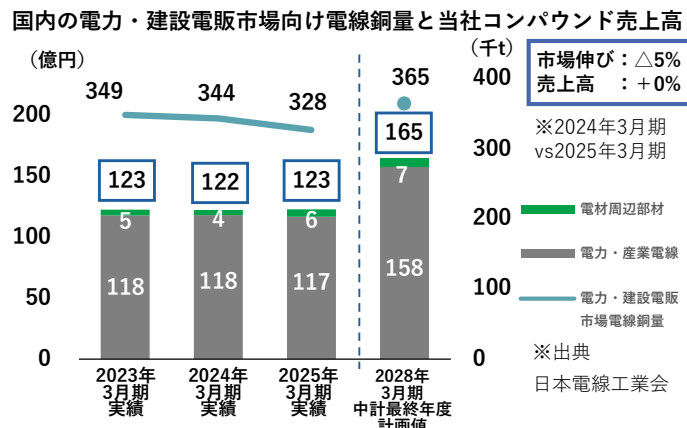


2025年3月期 通期実績

△332百万円 減収 (△1.3%)
△284百万円 減益 (△22.5%)

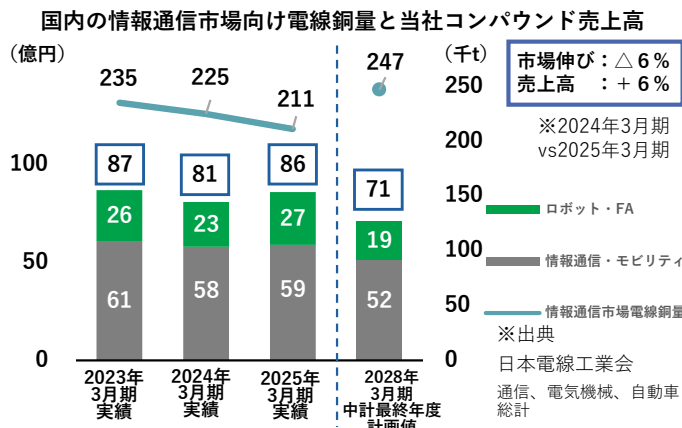
- 国内では、ロボット・FA/半導体向け等のコンパウンドの販売が増加したものの、機能性コンパウンド及び機能性フィルムの販売が減少し、減収
- 海外では、中国・米国・タイ国市場向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、機能性フィルムの販売減少により、減益

重点分野① 電力・産業電線



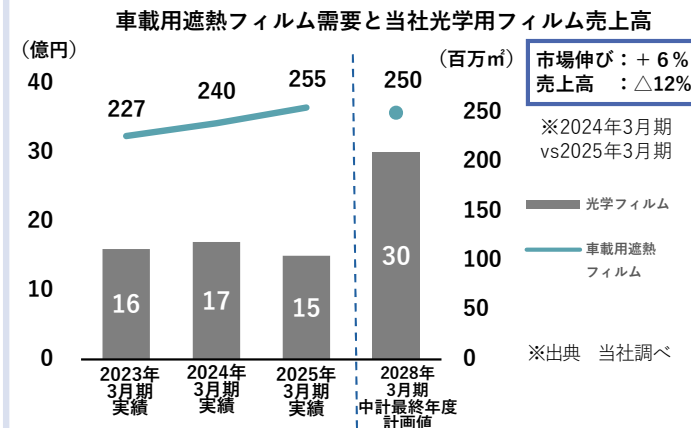
- 国内では、電力産業電線市況が低下するも、電力工事用部材の拡販が進み横這い
- 海外では、電力産業電線用塩ビコンパウンドの販売が米国・タイ国向けで増加するもインドネシア国向けで減少し横這い

重点分野② 情報通信



- 国内では、機能性コンパウンドの販売減少により、減収
- 海外では、インドネシア国での情報通信市場、中国でのロボット・FA/機器電線市場への拡販により、増収

重点分野③ 光学フィルム

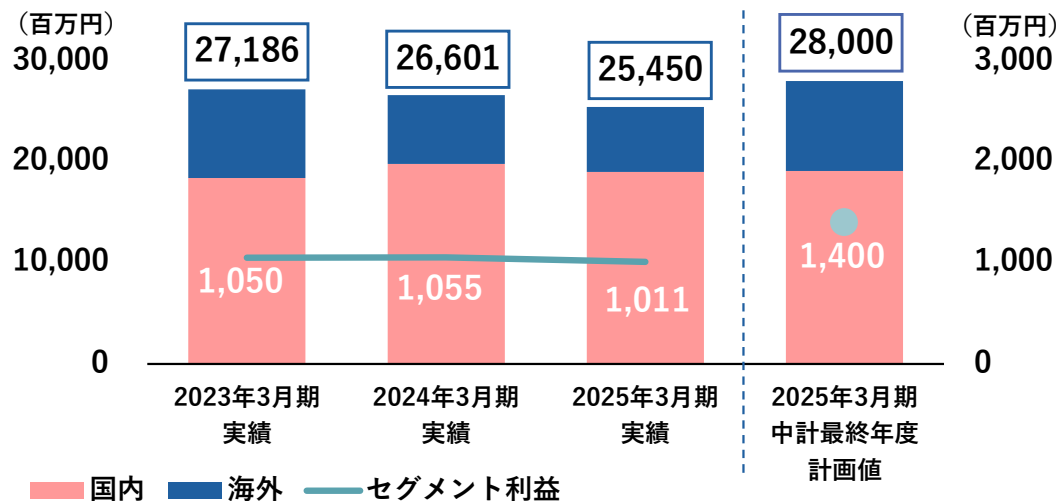


- 車載用フィルムはASEAN地域での新規製品立上げの遅れ、日系自動車販売の低迷もあり、減収

Building & Construction



売上高・セグメント利益

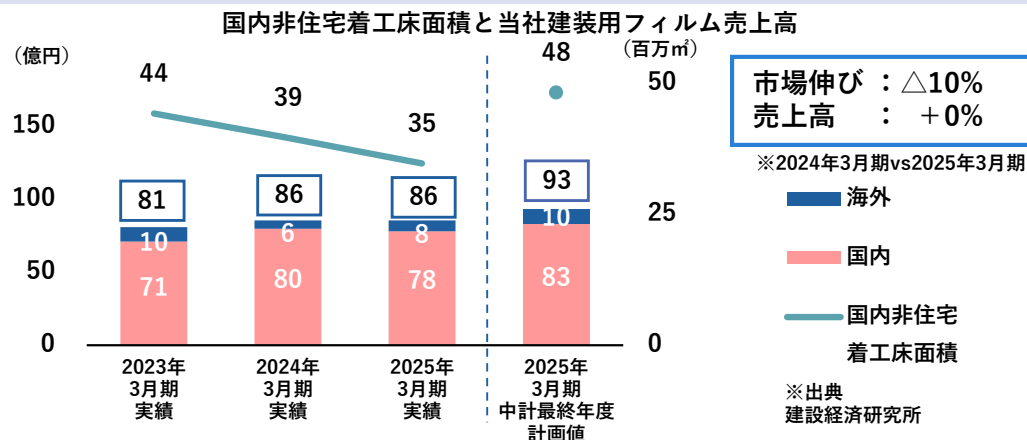


2025年3月期 通期実績

△1,150百万円 減収 (△4.3%)
△43百万円 減益 (△4.1%)

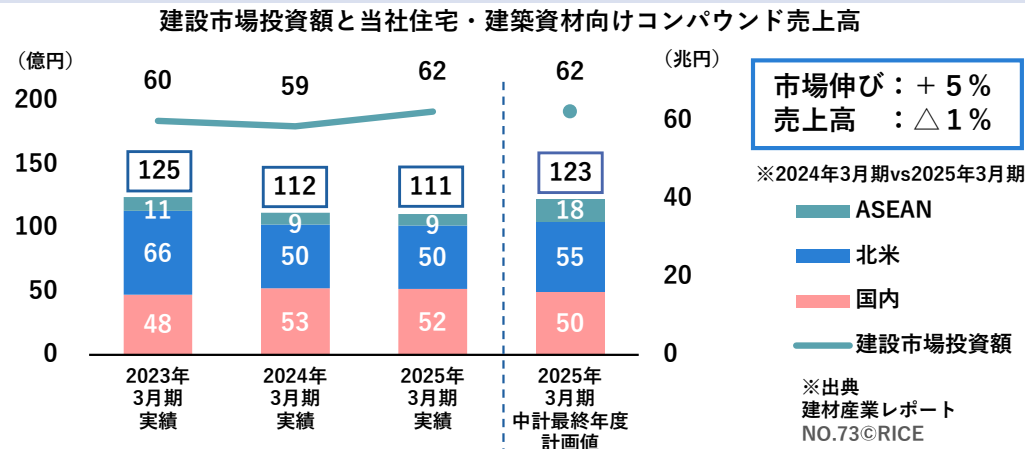
- 国内では、樹脂サッシ用塩ビコンパウンドの特需が落ち着いたことによる販売の減少及び建材市場の低迷による建材用フィルムの販売減少により、減収
- 海外では、米国での建材市場向け塩ビコンパウンドの販売が減少し、減収
- セグメント利益は、国内外での建材市場向け塩ビコンパウンドの販売減少により、減益

重点分野① 建装用フィルム



- 国内では、建築着工件数の減少に伴う市場低迷およびデザイン改定特需の収束により販売が減少し、減収
- 海外では、米国・カナダ国の顧客への拡販が進み、増収

重点分野② 住宅・建築資材



- 国内では、市況低迷による販売減少と新規拡販が遅れ、減収
- 海外では、販売減少と新規拡販が進まず、横這い

SECTION

- 01 2025年3月期 決算概要
- 02 セグメント別概況
- 03 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 連結業績予想



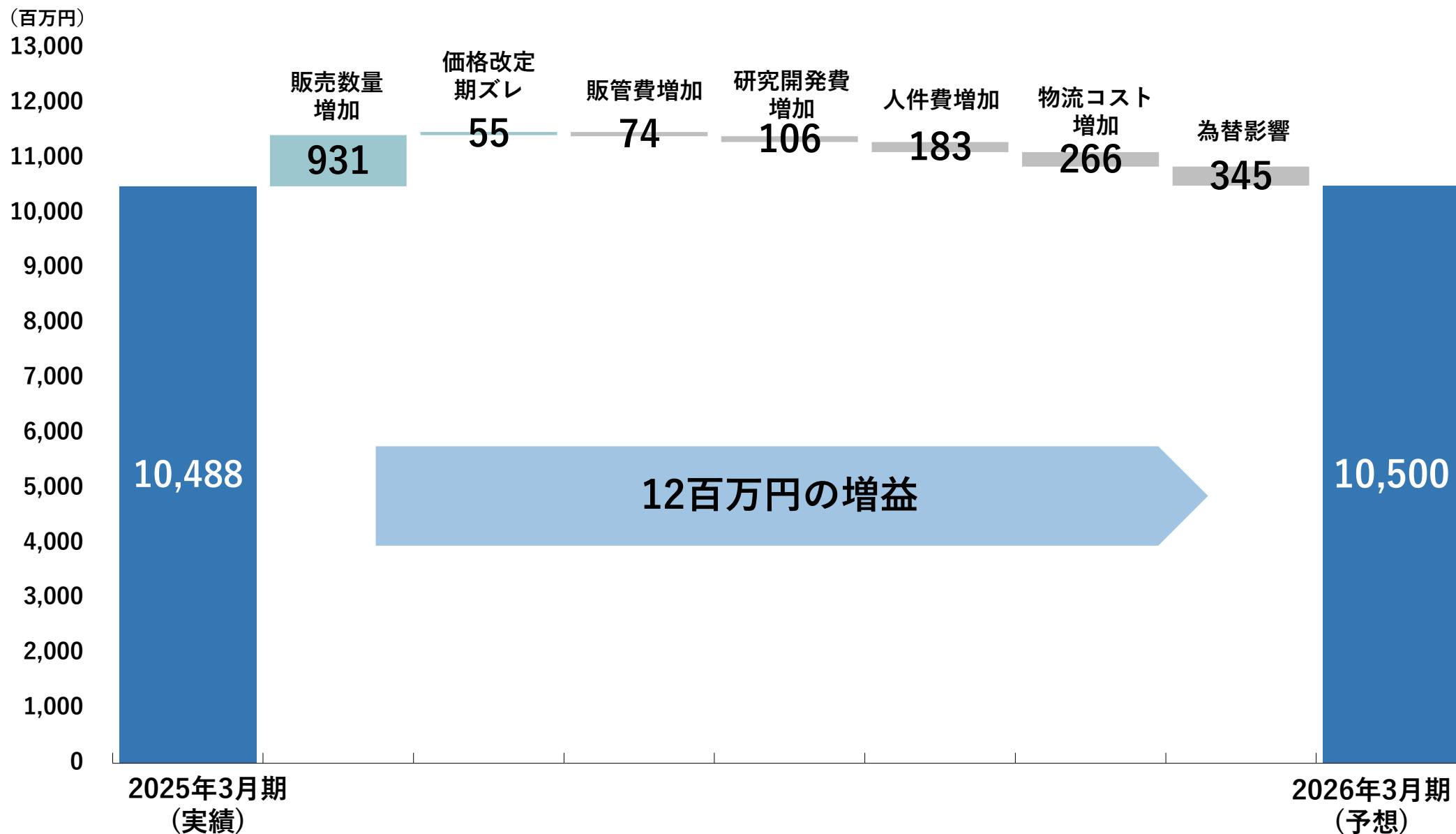
(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	前期比	
			差額	伸び率
売上高	128,141	134,000	5,859	4.6%
営業利益	10,488	10,500	12	0.1%
経常利益	10,587	10,300	▲ 287	▲2.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,370	5,800	▲ 1,570	▲21.3%
1株当たり当期純利益(円)	137.67	113.33	▲ 24.34	▲17.7%
ROS(%)	8.2	7.8	▲ 0.4	-
ROE(%)	11.4	8.7	▲ 2.7	-

想定国産ナフサ価格：70,000円/KL、想定為替レート：140円/USD

- 販売数量増加を見込むも、想定為替レートを140円/USDとし営業利益は横ばい
- 前期当期純利益には11億円の投資有価証券売却益を含む
- 米国の関税引き上げによる世界的な景気減速などの不透明な状況は続くと想定
- 当社グループにおいては地産地消ビジネスを展開し直接的な影響は少ないものの、顧客を含む間接的な影響については継続的に注視が必要

2026年3月期(予想)営業利益 増減要因分析



免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経営企画部/経理部

